

科目名	フィジカルアセスメント	配当時期	1年次後期	講義担当者	
時間割表記名	フィジカルアセスメント	単位数	1単位	佐々木主一	
		時間数	30時間(16回)	(実務経験のある教員)	
事前学習内容					
指示されたフィジカルアセスメントに関するワークを行う					
演習前には技術の動画を視聴する					
山内 豊明:著 フィジカルアセスメント ガイドブック、フィジカルアセスメント ワークブックをもとに事前に学習を行う					
授業目標					
1. さまざまな健康レベルにある人に適切な看護を行うために、看護の視点から、対象の身体状態を客観的かつ正確に把握するための知識を理解し、その技術を実践できる。					
2. 対象の症状から意図的に身体情報を収集し、アセスメントすることができる					
3. 看護における記録・報告の意義と方法について理解できる。					
DPとの関連					
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。					
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。					
授業の流れ					
回	学習内容	方法	備考		
1	1. 看護におけるアセスメントの意義 2. アセスメントの関係性 1) フィジカルイグザミネーション 2) フィジカルアセスメント 3. 看護における意図的な情報収集 4. 情報の種類(主観的情報、客観的情報) 5. 情報収集の手段(コミュニケーション、面接、問診) 6. 情報の分析(アセスメント)の実際 7. 情報の伝達 1) 報告の必要性 2) CHECK BACK 3) I-SBAR-C	講義・GW	テキスト①② ③④資料		
2	1. 健康歴の聴取 2. フィジカルイグザミネーションの実際 1) 問診・視診・触診・打診・聴診とその意味 2) 身体各部の測定(身長・体重・胸囲・腹囲)	講義・GW	テキスト①② ③④資料		
3	1. 呼吸器のフィジカルアセスメント 1) 呼吸器系のフィジカルアセスメントに必要な知識	講義・GW	テキスト①② 資料 * 4回目 45分		
4	2. 循環器系のフィジカルアセスメント 1) 循環器系のフィジカルアセスメントに必要な知識				
5	1. 呼吸器系、循環器系のフィジカルイグザミネーション	演習	テキスト①② 資料		
6	1) 視診による呼吸の観察				

	<ul style="list-style-type: none"> 2) 触診による呼吸の観察 3) 肺野の同定 4) 呼吸音の聴取(正常呼吸音・異常呼吸音) <p>2. 循環器系のフィジカルイグザミネーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 末梢循環不全の評価(動脈・静脈の触知) 2) 心臓野の同定 3) 正常な心音・異常な心音 		
7	<ul style="list-style-type: none"> 1. 消化機能のフィジカルアセスメント 1) 消化器系のフィジカルアセスメントに必要な知識 	講義・GW	テキスト①② 資料
8	<ul style="list-style-type: none"> 1. 消化器系のフィジカルイグザミネーション 1) 腹部の聴診(正常音・異常音の聴取) 2) 腹部の打診(鼓音・濁音) 3) 腹部の触診(腹部の反跳痛・マックバーニ一点) 4) 腹水のアセスメント(打診による観察) 5) 肝臓のアセスメント(肝臓の同定) 	演習	テキスト①② 資料
9	<ul style="list-style-type: none"> 1. 神経系・高次脳機能のフィジカルアセスメント 1) 神経系のフィジカルアセスメントに必要な知識 	講義・GW	テキスト①② 資料
10	<ul style="list-style-type: none"> 1. 神経系・高次脳機能のフィジカルイグザミネーション 1) 意識の評価(JCS・GCS、見当識障害) 2) 脳神経の各機能検査(I～XII神経) 	演習	テキスト①② 資料
11	<ul style="list-style-type: none"> 1. 筋・骨格系のフィジカルアセスメント 1) 筋・骨格系のフィジカルアセスメントに必要な知識 2. 筋・骨格系のフィジカルイグザミネーション 1) 歩行の観察、股関節可動域の測定 2) 筋力のスクリーニング 3) 徒手筋力測定(MMT) 	講義 演習	テキスト①② 資料
12	<ul style="list-style-type: none"> 1. 感覚機能のフィジカルアセスメント 1) 感覚器系のフィジカルアセスメントに必要な知識 2. 感覚機能のフィジカルイグザミネーション 1) 視力・視野のスクリーニング 2) 聴力のスクリーニング 3) 伝音難聴・感音性難聴の鑑別 4) 表在感覚、深部感覚の評価 	講義 演習	テキスト①② 資料
13	1. 症状・兆候からのアセスメント	グループワーク シミュレーション	テキスト①② 資料
14	2. 症状・兆候からのアセスメントの実際		
15	3. 症状・兆候からのアセスメントの振り返り		
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	テキスト①② 資料

<p>受講上の注意</p> <p>○実習で実践できるように技術の練習を各自行う。</p>	<p>評価方法</p> <p>筆記試験 レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>参考図書</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I, 医学書院</p> <p>②山内 豊明:著 フィジカルアセスメント ガイドブック:医学書院</p> <p>③急変させない患者観察テクニック 羊土社(池上敬一)</p> <p>④系統看護学講座 基礎分野 人間関係論, 医学書院</p> <p>⑤系統看護学講座 専門分野 医療安全, 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>①: DVD(山内豊明教授のフィジカルアセスメント シリーズ)</p>	